

# 横浜環状南線 舗装詳細設計

## 特 記 仕 様 書

令和 7 年 1 2 月

東日本高速道路株式会社  
関東支社 横浜工事事務所

# 目 次

第1章 総則 .....	1
1-1 調査等概要 .....	1
1-2 適用する共通仕様書 .....	1
1-3 テクリスへの登録 .....	1
1-4 履行期間 .....	2
1-5 資料の貸与 .....	2
1-6 受注者相互の協力 .....	5
1-7 部分使用 .....	5
1-8 発注者または監督員が行う協議 .....	5
1-9 計画工程表 .....	6
1-10 調査等打合簿の作成及び提出について .....	6
1-11 工事記録情報の作成及び提出について .....	7
1-12 三者協議会について .....	7
1-13 ウィークリースタンスの取組み .....	7
第2章 業務細部に関する事項 .....	7
2-1 適用すべき諸基準 .....	7
2-2 設計条件 .....	8
2-3 舗装設計 .....	8
2-4 附帯工設計 .....	9
2-5 工事発注用数量表作成 .....	11
2-6 打合せ .....	11
2-7 交通費・宿泊費 .....	11
2-8 成果品 .....	11
第3章 補足事項 .....	12
3-1 設計図書の変更及び追加について .....	12

## 添付資料

- 様式-1 履行期間通知書
- 様式-2 計画工程表
- 様式-3 工事記録情報 完了届

## 第1章 総則

### 1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 横浜環状南線 舗装詳細設計

1-1-2 路線名 一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道（横浜環状南線）

1-1-3 履行箇所 自）神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA. -10+66.138）  
至）神奈川県横浜市戸塚区原宿 （STA. 85+43.000）

### 1-1-4 主な履行内容

#### 舗装設計

本線部設計 9.60km

連絡等施設設計 4箇所

#### 附帯工設計

詳細図作成 172枚

区画線協議用図面作成 16枚

#### 工事発注用数量表作成

工事目的物別数量総括表 23.05km

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和7年7月版とする。

### 1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへの登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

（1）受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内

（2）登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内

（3）完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変

更時と完了時の間が１５日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

#### １－４ 履行期間

本業務は、共通仕様書１－１３－１「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から１０日以内に、履行期間通知書（本特記仕様書様式－１）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から７８０日間（まで）

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から１２０日間（まで）

#### １－５ 資料の貸与

共通仕様書１－１５－１及び５－２－３「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。

なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
道路設計	横浜環状南線 公田笠間トンネル他附帯工設計	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 公田地区構造物設計	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 公田インターチェンジ詳細設計	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 釜利谷庄戸トンネル施工計画検討	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 公田笠間トンネル安定照査業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 釜利谷地区発注用図面修正業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 飯島地区構造物照査検討業務	契約締結後貸与	電子データ
橋梁設計	横浜環状南線 飯島地区構造物修正設計	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 上郷地区附帯工設計	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 釜利谷地区附帯工設計	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 釜利谷庄戸地区トンネル詳細設計	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 上郷地区函渠工照査業務	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 上郷地区立坑照査業務	契約締結後貸与	電子データ

トンネル設計	横浜環状南線 釜利谷ジャンクションHランプ第二トンネル設計業務	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 庄戸トンネル詳細設計	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 上郷地区構造物照査業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 飯島地区道路詳細設計	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 釜利谷ジャンクション設計業務	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 上郷地区構造物設計	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 釜利谷東トンネル設計業務	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 公田地区函渠工設計	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 公田笠間トンネル設計	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 庄戸地区トンネル検討業務	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 公田地区設備検討業務	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 桂台トンネル立坑詳細設計	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 公田西地区構造物設計	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 公田東地区構造物設計	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 釜利谷地区トンネル検討業務	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 栄西地区施工計画検討	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 地下構造物設備効率化検討	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 庄戸トンネル設計	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 公田地区掘割施工検討	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 上郷地区構造物検討業務	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 釜利谷ジャンクショントンネル設計	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 上郷地区道路設計	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 公田 I C 設計施工計画検討	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 地下構造物設計検討業務	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 庄戸トンネル検討会資料作成	契約締結後貸与	電子データ
トンネル設計	横浜環状南線 釜利谷ジャンクションCランプトンネル詳細設計	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 栄西地区協議用図面作成	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 上郷地区附帯工設計	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 栄西地区協議用資料作成	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 飯島地区構造検討業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 公田地区地元協議用資料作成	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 公田地区構造設計	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 釜利谷～戸塚間協議用資料作成業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	横浜環状南線 庄戸地区附帯工設計	契約締結後貸与	電子データ
標識設計	横浜環状南線 釜利谷～戸塚間標識設計	契約締結後貸与	電子データ

標識設計	横浜環状南線 横浜工事事務所管内標識構造検討	契約締結後貸与	電子データ
附帯工設計	横浜環状南線 釜利谷～戸塚間協議用資料作成業務	契約締結後貸与	電子データ
完成図	横浜環状南線 釜利谷地区整備工事	契約締結後貸与	電子データ
完成図	横浜環状南線 釜利谷ジャンクションCランプトンネル工事	契約締結後貸与	電子データ
完成図	横浜環状南線 釜利谷ジャンクション工事	契約締結後貸与	電子データ
完成図	横浜環状南線 釜利谷ジャンクションFランプ橋（鋼上部工）工事	契約締結後貸与	電子データ
完成図	横浜環状南線 釜利谷ジャンクションHランプ第二トンネル工事	契約締結後貸与	電子データ
橋梁設計	H24 IC・JCT Dランプ1号橋梁詳細設計業務	契約締結後貸与	電子データ
橋梁設計	H25 IC・JCT 本線第3他橋梁詳細設計業務	契約締結後貸与	電子データ
橋梁設計	H25 IC・JCT Hランプ2号他橋梁詳細設計業務	契約締結後貸与	電子データ
橋梁設計	H25 IC・JCT 本線第4橋梁詳細設計他業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	H18 国道468号道路設計業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	H26 圏央道栄～戸塚間道路詳細設計業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	H28 圏央道栄～戸塚間施工計画検討他業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	H28 IC・JCT道路詳細設計業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	H29 圏央道栄～戸塚間施工計画検討他業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	H30 圏央道栄～戸塚間施工計画検討他業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	令和元年度都市計画道路横浜藤沢線（田谷・小雀地区）及び田谷設計業務委託	契約締結後貸与	電子データ
橋梁設計	R2 圏央道栄～戸塚間橋梁詳細設計業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	R2 圏央道栄～戸塚間道路詳細設計業務	契約締結後貸与	電子データ
橋梁設計	R2 圏央道栄 IC・JCT 橋梁修正設計他業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	R2 圏央道栄～戸塚間排水構造物詳細設計業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	R3 圏央道栄～戸塚間施工計画検討他業務	契約締結後貸与	電子データ
道路設計	R3 圏央道栄 IC・JCT 施工計画検討業務	契約締結後貸与	電子データ
構造物設計	R3 圏央道戸塚 IC 構造物詳細設計業務	契約締結後貸与	電子データ
完成図	R1 横環南戸塚・栄地区改良工事	契約締結後貸与	電子データ
完成図	R1 横環南栄 IC・JCT Jランプ橋他床版工事	契約締結後貸与	電子データ
完成図	R2 横環南栄 IC・JCT 本線2-2号橋他上部工事	契約締結後貸与	電子データ
完成図	R2 横環南栄 IC・JCT Cランプ2号橋上部工事	契約締結後貸与	電子データ
完成図	R2 横環南栄 IC・JCT Eランプ橋他床版工事	契約締結後貸与	電子データ
完成図	R3 横環南栄 IC・JCT 本線第1橋上部工事	契約締結後貸与	電子データ
完成図	R3 横浜湘南道路栄 IC・JCT Aランプ1号橋他上部工事	契約締結後貸与	電子データ

完成図	R3 横環南栄 I C・J C T Aランプ 2号橋他上部工事	契約締結後貸与	電子データ
完成図	R4 横環南栄 I C・J C T Bランプ 4号橋上部工事	契約締結後貸与	電子データ
完成図	R4 横環南栄 I C・J C T Cランプ 2号橋床版工事	契約締結後貸与	電子データ
完成図	R5 横環南田谷高架橋上部工事	契約締結後貸与	電子データ
完成図	東海道本線戸塚・大船間横浜環状南線交差部上部工 新設（本線第 2-1 号橋）	契約締結後貸与	電子データ

#### 1-6 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20 「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
横浜環状南線 附帯工設計	令和 7 年 4 月 23 日～ 令和 9 年 2 月 11 日	(株) C P C	当社	
横浜環状南線 管理施設実施設計	令和 7 年 6 月 25 日～ 令和 9 年 7 月 14 日	(株) 笹戸建築事務所	当社	施設設計
横浜環状南線 標識詳細設計	未定	未定	当社	

#### 1-7 部分使用

共通仕様書 1-36 「部分使用」の規定に基づき部分使用を請求する内容及び使用時期は下表のとおりとする。

内容	使用開始時期	使用理由
舗装設計平面図 (本線部・連絡等施設)	令和 9 年 1 月末	別途実施する調査等業務で使用するため

#### 1-8 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16 「関係官公署及び関係会社への手続き」に従って行う協議以外である。

また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに完了予定時期を変更する場合がある。

##### (1) 交通管理者

位置	路線名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
STA. -10+66.138～ STA. 85+43.000	一般国道 468 号	神奈川県警察本部 高速道路交通警察隊	区画線協議等	未定

## 1-9 計画工程表

### 1-9-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-1 4-1 「作業計画書の提出」(2) に示す作業計画書中の計画工程表（本特記仕様書様式-2）の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。

ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期及び共通仕様書 1-2 2 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項目	備考
舗装設計	現地踏査	
舗装設計（本線部）	平面設計及び図面作成	
	縦断面作成	
	標準横断面作成	
	数量表作成	
舗装設計（連絡等施設）	平面設計及び図面作成	
	縦断面作成	
	標準横断面作成	
	数量表作成	
附帯工設計	詳細図作成	
	区画線協議用図面作成	
工事発注用数量表作成	工事目的物別数量総括表	
	工事目的物別代価表作成	
設計打合せ		
設計報告書の作成		

### 1-9-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-2 2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1-4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-1 4-3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員との協議の上決定するものとする。

### 1-10 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-2 2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。



### 1-1-1 工事記録情報の作成及び提出について

- (1) 共通仕様書 1-4-4-1 「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和 6 年 7 月版とする。
- (2) 受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」(本特記仕様書様式-3)を調査等完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。
- (3) 工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路(株) 関東支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

### 1-1-2 三者協議会について

本業務の成果による発注工事(以下「予定工事」という。)において、発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が共同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として、「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」(以下「三者協議会」という。)を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

### 1-1-3 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取組むこととする。

取組み内容は、契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者との協議の上実施する取組み事項を定め、工事打合簿を作成し相互に確認するものとする。

あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

## 第 2 章 業務細部に関する事項

### 2-1 適用すべき諸基準

共通仕様書 5-2-1 「適用すべき諸基準」に下表を追加する。

名称	発行元	発行年月日
料金收受機械据付工事共通仕様書	当社	令和 7 年 4 月
高弾性上層路盤用混合物 設計・施工管理要領	当社	令和 6 年 4 月
車線区画柵 設置及び維持管理マニュアル(案)	当社	令和 5 年 6 月
関東支社 舗装設計施工マニュアル	当社	令和 3 年 7 月

高耐久道路の建設に向けたガイドライン	当社	令和２年１２月
高速道路付属物の二重の安全対策設計・施工暫定要領	当社	平成２７年７月
横浜環状南線（釜利谷東トンネルから笠間トンネル間） 設計マニュアル（案）	当社	平成２１年１２月

## ２－２ 設計条件

本設計の設計条件は次のとおりとする。

### （１）本線

- １）道路規格 : 第１種 第３級
- ２）設計速度 :  $V = 80 \text{ km/h}$
- ３）車線数 : 暫定４車線（完成６車線）【釜利谷料金所～釜利谷ＪＣＴ】  
完成６車線 【釜利谷ＪＣＴ～栄ＩＣ・ＪＣＴ（仮称）】  
暫定２車線（完成６車線）【栄ＩＣ・ＪＣＴ（仮称）～戸塚ＩＣ（仮称）】
- ４）計画交通量 : １２，５００台／日～５６，０００台／日

### （２）連絡施設 ランプ規格

- 釜利谷ＪＣＴ : Ａ規格
- 公田ＩＣ（仮称） : Ａ規格
- 栄ＩＣ・ＪＣＴ（仮称） : Ａ規格
- 戸塚ＩＣ（仮称） : Ａ規格

## ２－３ 舗装設計

### ２－３－１ 現地踏査

現地踏査は、当該設計に必要な現地状況などを把握するものとし、設計図書に基づいた設計範囲及び貸与資料と現地との整合性を目視により確認するものとする。

### ２－３－２ アスファルトプラント及びソイルプラントの設置検討について

舗装工事用のアスファルトプラント及びソイルプラントについては、設計区間において使用する舗装材料の規模、運搬車両の運行ルート等の施工計画を勘案し、仮設プラント設置の要否及び候補地を検討するものとする。なお、この検討は共通仕様書５－６－１（２）「設計計画」に含むものとする。

### ２－３－３ 本線部設計

本業務における本線部の設計区分は次のとおりとする。

#### （１）平面設計及び図面作成

項目	単位	数量	区分
平面設計及び図面作成 A 1	k m	1. 4 3	本線道路部 4～6 車線
平面設計及び図面作成 A 2	k m	1. 0 5	本線道路部 2 車線
平面設計及び図面作成 B 1	k m	6. 8 9	橋梁トンネル部 4～6 車線
平面設計及び図面作成 B 2	k m	0. 2 3	橋梁トンネル部 2 車線

## (2) 縦断図作成

項目	単位	数量	区分
縦断図作成 A	k m	3. 7 2	本線標準区間 4 ～ 6 車線
縦断図作成 B	k m	1. 2 8	本線標準区間 2 車線
縦断図作成 C	k m	9. 1 9	本線分離区間

## (3) 標準横断図作成

項目	単位	数量	区分
標準横断図作成 A	枚	1 0	本線部

## 2-3-4 連絡等施設設計

本業務における連絡等施設は、釜利谷 J C T、公田 I C（仮称）、栄 I C・J C T（仮称）、戸塚 I C（仮称）で、その設計区分は次のとおりとする。

### (1) 平面設計及び図面作成

項目	単位	数量	区分
平面設計及び図面作成 C 1	枚	1 8	連絡等施設 1 / 5 0 0 平面図
平面設計及び図面作成 C 2	枚	1 0	連絡等施設 1 / 1 0 0 0 平面図
平面設計及び図面作成 C 3	枚	3 0	連絡等施設 1 / 2 0 0 詳細図
平面設計及び図面作成 C 4	枚	9	連絡等施設 1 / 1 0 0 0 線形図

## (2) 縦断図作成

項目	単位	数量	区分
縦断図作成 D	k m	1 3. 4 5	連絡等施設

## (3) 標準横断図作成

項目	単位	数量	区分
標準横断図作成 B	枚	1 9	連絡等施設

## 2-3-5 数量計算

本業務における数量表作成の設計区分は次のとおりとする。

### (1) 数量表作成

項目	単位	数量	区分
数量表作成 A 1	k m	1. 4 3	本線道路部 4 ～ 6 車線
数量表作成 A 2	k m	1. 0 5	本線道路部 2 車線
数量表作成 B 1	k m	6. 8 9	橋梁トンネル部 4 ～ 6 車線
数量表作成 B 2	k m	0. 2 3	橋梁トンネル部 2 車線
数量表作成 C	k m	1 3. 4 5	連絡等施設

## 2-4 附帯工設計

### 2-4-1 詳細図作成

本業務における詳細図作成の設計区分は次のとおりとする。

項目	単位	数量	設計区分	備考
詳細図作成 A				
用排水工詳細図	枚	1 2	A	
詳細図作成 B				
床版防水工詳細図	枚	7	B	
立入防止柵詳細図	枚	2	B	
逆走防止対策詳細図	枚	1	B	
カルバート番号板詳細図	枚	1	B	
視線誘導標工詳細図	枚	1	B	
距離標詳細図	枚	3	B	
縁石工詳細図	枚	1	B	
舗装端部詳細図	枚	5	B	
詳細図作成 C				
防護柵詳細図	枚	1 2	C	
剛性防護柵詳細図	枚	2	C	
落下物防止柵詳細図	枚	2	C	
路面標示工詳細図	枚	4 3	C	
E T C 路面標示工詳細図	枚	4	C	
避難通路路面標示工詳細図	枚	2	C	
ノーズ工詳細図	枚	4	C	
4 ～ 2 車線擦り付け部舗装詳細平面図	枚	2	C	
シェルター部中央分離帯詳細図	枚	2	C	
料金所施設部詳細図	枚	3	C	
詳細図作成 D				
連続鉄筋コンクリート舗装版詳細図	枚	3 6	D	
料金所コンクリート舗装版詳細図	枚	1 2	D	
踏掛版工詳細図	枚	8	D	
詳細図作成 E				
既設舗装撤去工詳細図	枚	3	E	
既設路面標示消去工平面図	枚	3	E	
仮設プラント敷地詳細図	枚	1	E	

設計区分は、下表のとおり詳細図作成の難易度区分を表す。

設計区分	項 目	難易度
A	用排水工	簡単
B	簡易舗装工詳細図	簡単
C	簡易舗装工詳細図	普通

D	簡易舗装工詳細図	複雑
E	設計協議説明用図作成	複雑

#### 2-4-2 区画線協議用図面作成

区画線協議用図面は下表のとおりとする。

項目	設計区分	作成難易度	単位	数量
区画線協議用図面作成	設計協議説明用図面作成	普通	枚	16

#### 2-5 工事発注用数量表作成

##### 2-5-1 工事目的物別数量総括表

本業務における工事目的物別数量総括表の設計条件は次のとおりとする。

設計区分	単位	数量	設計内容	備考
工事目的物別数量総括表	km	23.05	工種区分：舗装	

##### 2-5-2 工事目的物別代価表作成

本業務における工事目的物別代価表作成の設計条件は次のとおりとする。

設計区分	単位	数量	設計内容	備考
工事目的物別代価表作成	工事	1	工種区分：舗装	

#### 2-6 打合せ

打合せ回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め9回とする。当初の打合せは現地踏査時に行い、打合せの検測数量は1式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社横浜工事事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

また、Webカメラ及びWeb会議システム等を活用して打合せを実施する場合の取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

#### 2-7 交通費・宿泊費

技術業務直接人件費に関する、交通費・宿泊費には、設計打合せ及び現地踏査に必要な交通費・宿泊費を含むものとする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

また、Web会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・宿泊費についての取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

#### 2-8 成果品

報告書の表紙は、青色（色番号 SP278-1/2）、金文字製本とする。

### 第3章 補足事項

#### 3-1 設計図書の変更及び追加について

下記に示す事項については、現地状況等により変更または追加する可能性があるので、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。また、これに要する費用については、監督員と別途協議するものとする。

- (1) 横浜湘南道路の施工計画検討等を追加する場合がある。
- (2) 横浜横須賀道路金沢支線の舗装設計等を追加する場合がある。
- (3) 他工事及び施設設計との協議により、詳細図作成等を追加する場合がある。
- (4) 現地状況または関係機関との協議により、協議用図面および詳細図作成等を追加する場合がある。

様式－1

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 関東支社  
支社長 殿

住所  
会社名  
代表者

履行期間通知書

調査等名 横浜環状南線 舗装詳細設計

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

## 1 設計業務

[illegible]

## 2 関連業務資料

[illegible]

### 3 貸与資料

[illegible]

#### 4 關係機關協議

[illegible]

#### 4 その他懸案事項

[illegible]

## 5 協議内容、結果等

協議内容経緯等	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者
	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果

※作成のポイント（記載内容を作成するにあたり、共通の書き方を）記述仕様の記載と確認の上で実行すること

- ① 通知や工費管理（履行期間の管理）を促すことにより、
- ② 発注者・受注者の双方が「発注仕様」または「仕様書」として要件事項やその流れが明確になるのを促進することにより、資材手配・発注調整・外注協力の順に進捗を確認すること。
- ③ 施作時間・工程表（出来表）に明示することにより、打合せ時・内容上・工程上の遅れなどが一層浮き出る。
- ④ 無償での作業（結果）と支払上に明示することにより、作業の進捗状況に合わせた仕度作業が実施されていることが分かる。

また、本表は作業計画書に添付することにより、発注者と受注者間で共有し、通知や訂正機能によって設計と現場とのやり取り、品質の確保を図る。

※本表は一般的なものでない限り、上記記載を理解したうえで、各業務単位で工夫・改良を加えて利用することを基本とする。

※作成時の留意事項

① 関係機関協議については該当事項をその都度記入のこと

② 協議待ちによる遅延の場合工程上のクリティカルを明示すること。

③ 工程計画に大幅な変更が生じた場合、協議時に発注者に提示し確認を行うこと。

## 6 照查内容

<p>照査時期、照査内容、照査結果</p>	<p><b>照査①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照査時期：基本条件、設計条件検討時</li> <li>・照査内容：基本条件の照査</li> <li>・照査結果：</li> </ul>	<p><b>照査②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照査時期：設計方針、最終形式決定時</li> <li>・照査内容：細部条件の照査</li> <li>・照査結果：</li> </ul>	<p><b>照査③</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照査時期：成果品納入前</li> <li>・照査内容：成果品の照査</li> <li>・照査結果：</li> </ul>
-----------------------	---	---	--



監督員 \_\_\_\_\_ 殿

受 注  
管理技術者 \_\_\_\_\_ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名		東日本高速道路（株） 関東支社 横浜工事事務所	
調 査 等 名		横浜環状南線 舗装詳細設計	
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。